

第83回全神戸選抜軟式野球大会 特別規則

1. 試合について

- (1) 1回戦及び2回戦までは全て7回ゲームです。準決勝戦・決勝戦は9回ゲームとします。
- (2) 指名打者ルールを使用することができます。打順表に必ず記載してください。
- (3) タイムを取れる回数は7回ゲームは3回、9回ゲームは4回、特別延長戦のときは、1イニングに1回とします。
- (4) 試合時間は7回ゲームは1時間40分、準決勝戦は2時間、決勝戦は2時間20分とします。但し、先攻チームがリードしている場合で表の攻撃終了時点で試合残り時間が5分を切っている場合は裏の攻撃を最終回とします。
また、後攻チームがリードしている場合は、7回戦では1時間30分、9回戦では1時間50分、決勝戦は2時間10分を過ぎていれば、裏の攻撃をせず試合を終了します。
- (5) 降雨・日没などで試合続行が不可能と判断した場合、7回ゲームは5回を終了、9回ゲームは7回を終了していれば試合は成立とします。
- (6) 7ゲーム戦の場合は、5回以降7点、9回ゲームの場合は、5回以降10点7回以降7点差でコールドゲームを適用します。
- (7) 試合時間又は7回・9回を完了して同点の場合は、時間に関係なく1回タイブレーク方式を採用します。
タイブレーク方式は、継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とします。すなわち0アウト一塁・二塁の状態で行います。
なおも同点の場合は抽選とします。(イニング・時間は早い方を優先します。)
【原則として決勝戦はタイブレーク方式で勝敗がつくまで行います。】

2. 特別継続試合

- (1) 試合は時間の許す限り行いが、降雨・日没などで当日決着がつかなかった場合、特別継続試合とします。
球場の使用時間等の関係で当日試合の成立が難しい状況であっても両チームに通告のうえ、試合を開始することがあります。
成立しなかった場合は特別継続試合とします。
- (2) 如何なる場合でも、試合が中断になった場合は次回開催日の第1試合に先立って特別継続試合を行います。
- (3) 試合は中断された場面より再開する。
- (4) 両チームの出場者は試合が中断されたときと同一とします。
ただし、規則によって認められる交代は可能です。
- (5) 中断された試合に出場して、他の選手と交代して、その試合より退いた選手は継続試合に出場で来ません。
今大会の特例として中断された試合に出場していない控え選手の変更を認めます。
変更可能な人数は25人から中断試合から退いた人数プラス9人を引いた人数とします。
その場合は本部に新たに打順表を提出し承認をえることとします。
(例) 中断の試合で3人が退いていた場合: $25人 - (3人 + 9人) = 13人$ (変更可能な人数)

3. 審判員

- (1) 3人制を原則としますが、4人制でも行います。